








※本情報は2016年1月時点の情報です。
 その後の情報は反映されていませんので、ご注意ください。





フォード・レーザー 3HB (H6/6~H8/10)

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法						オプション	
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1D		2D
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ		46サイズ
H6/6~H8/10	E-BHALSF E-BHA5SF E-BHA8SF	全車種	2D		×	KK-T39D [Ⓚ]		8,500円	注2,4	◎ 注1	◎ 注1	
			2D		×	KJ-T50D ^㉑		7,500円	注3,4,7	◎	◎	
			1D		注5	KK-T38D [Ⓚ]		7,500円	注2	◎	×	
				1D	注5	KK-T38D [Ⓚ]		7,500円	注2	◎	×	
			1D		注5	KJ-T10D ^㉑		5,500円	注3	◎	×	
				1D	注5	KJ-T11D ^㉑		3,500円	注3	◎	×	





- (注1) 1Dサイズのおペレーションフラップ機構付の商品を取付ける場合は、キットに付属のパネル窓口の上または下がフラップ開閉時に少し当たりますので、パネル窓口を削る必要があります。
- (注2) KK-T39D[Ⓚ]、KK-T38D[Ⓚ]には、配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KK-T38D[Ⓚ]はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KK-T39D[Ⓚ]を使用するかまたは、KK-T38D[Ⓚ]を2セット使用します。
- (注3) KJ-T50D^㉑、KJ-T10D^㉑には、配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KJ-T10D^㉑はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KJ-T50D^㉑を使用するかまたは、KJ-T10D^㉑とKJ-T11D^㉑を各1セット使用します。
- (注4) アドオン取付けは不可で、車両側取付部（上スペースと下スペースの仕切り部分）の切取加工が必要。
- (注5) ディーラーオプションのカーラジオまたはCDデッキなどが付いている場合は、車種により（取付ケースを使用して取付けているタイプ）、純正取付ケースとパネルを使用してキットレス取付けが可能なる場合もあります。
- (注6) KJ-T50D^㉑には、「標準取付（通常取付）」用化粧パネルに加え、「14mm前出し取付」用化粧パネルが付属されています。
- (注7) KJ-T50D^㉑は、「標準取付（通常取付）」に加え、「14mm前出し取付」にも対応したキットで、取付けるカーステレオの配線・端子等が車両側に当たる場合は、14mm前に出して、付属の「14mm前出し取付化粧パネル」を使用し、（パネル加工せずに）取付けることが可能です。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンプブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源（ACC、常時、イルミネーション）			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… フォード車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
24 	マツダ車用配線キット KJ-T24P ^㉑ が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。24は24P車用でKJ-T24P ^㉑ （2,500円、税別）の適応車種です。
12 	マツダ車用配線キット KT-12P [Ⓚ] が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。12は12P車用でKT-12P [Ⓚ] （2,500円、税別）の適応車種です。特に、オートアンテナ装備車の場合にKT-12P [Ⓚ] を使用する場合には、オートアンテナ電源用リレーが付属されていますので大変便利です（車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません）。
	FMダイバーシティ アンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コード RD-AN33（2,000円、税別）を使用します。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II [Ⓚ] （12,000円、税別）がシート取付ボルト部に取付可能です（車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II [Ⓚ] 付属のロッドが使用できない場合もあります）。 (注) … KW-27V II [Ⓚ] は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方および、基礎知識や用語解説などをご確認ください。

※本情報は2016年1月時点の情報です。
 その後の情報は反映されていませんので、ご注意ください。

フォード・レーザー 3HB (H6/6~H8/10)

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット								注記 B	ボックスタイプ				ユニットタイプ				サテライト									
			TS- J6910A	TS- C1620AII J1610A F1630S F1630	TS- C1020A J1010A	TS- F1030S F1030						TS- X480G	TS- X380 X180	TS- E1796	TS- E1676	TS- E1396	TS- E1076	TS- G1030	TS- STH1100	TS- STH700	TS- STX510								
3HB	ドア			◎14	×	×																							
	後席側面		×	×																									
	Rシェルフ											◎15	◎16	○															

注記
 ◎14 取付ネジ穴位置が端寄りになるため、付属の平座金を使用して取付ける。
 ◎15 純正カーエアクリン付車は、シェルフから少しはみ出させて取付ければ可。
 ◎16 TS-X380を純正カーエアクリン付車に取付ける場合は、外側をシェルフの段差にかけて取付ける。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	◆	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)	☒	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
回	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	☑	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
⊙	取付可 (配線加工が必要)	×	取付不可
◆	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要)	空欄	非適合または、未調査で取付可否不明

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可 (別売の「スぺーサー」使用)
⊙	取付可 (鉄板加工が必要)	▲	取付可 (別売の「スぺーサー」使用で、鉄板加工が必要)
○	取付可 (スピーカーに付属のスぺーサー使用)	□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)
●	取付可 (スピーカーに付属のスぺーサー使用で、鉄板加工が必要)	×	取付不可
		空欄	非適合または、未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		×	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合または、未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方および、基礎知識や用語解説などをご確認ください。